



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社 ダイフク

上場取引所 東

コード番号 6383 URL <http://www.daifuku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北條 正樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 木村 義久

TEL 06-6472-1261

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	172,794	19.5	9,099	89.3	9,655	112.2	5,902	123.4
25年3月期第3四半期	144,549	1.1	4,807	269.6	4,550	416.2	2,642	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 12,977百万円 (196.4%) 25年3月期第3四半期 4,378百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	53.35	51.65
25年3月期第3四半期	23.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	235,314	96,810	40.2
25年3月期	206,875	85,685	40.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 94,545百万円 25年3月期 83,538百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	238,000	17.6	11,500	43.6	12,000	50.0	6,500	46.4	58.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	113,671,494 株	25年3月期	113,671,494 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	3,036,575 株	25年3月期	3,022,663 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	110,643,377 株	25年3月期3Q	110,652,524 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで2月12日に開示し、同日、当社ホームページに掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	5
3. 四半期連結財務諸表.....	6
(1) 四半期連結貸借対照表.....	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界の経済は、中国をはじめとする新興国の多くで景気減速感が見られるものの、主要先進国で改善の兆しが見られます。また、わが国の経済も、緩やかに持ち直しています。

当業界におきましては、競合状況は依然として厳しいものの、お客さま各業界の設備投資需要は総じて改善しつつあります。

このような環境のもと、当社グループの業績は順調に進捗しました。受注は、一般製造業や流通業向けシステムの中国やアジア地域での需要増、半導体工場向けシステムの設備投資再開、自動車生産ライン向けシステムの北米・中国・アジアでの活発なニーズを着実に成果に結びつけました。売上は、各業界向けともに、豊富な受注量をベースに堅調に推移しました。

この結果、受注高は192,436百万円（前年同四半期比27.2%増）、売上高は172,794百万円（前年同四半期比19.5%増）を計上しました。

利益につきましては、ダイフク単体におけるコスト改善の一層の進展、コンテックグループおよび海外子会社の業績向上が寄与しました。この結果、営業利益は9,099百万円（前年同四半期比89.3%増）を計上しました。また、円安による為替差益などにより、経常利益は9,655百万円（前年同四半期比112.2%増）、四半期純利益は5,902百万円（前年同四半期比123.4%増）を計上しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。売上は外部顧客への売上高、セグメント利益は四半期純利益を記載しております。セグメントに関する詳細は、後記（セグメント情報等）をご覧ください。

## ①株式会社ダイフク

## 《受注》

主力の一般製造業や流通業向け保管・搬送・仕分け・ピッキングシステムでは、流通、農業、医薬品、食品業界向けなどの大型案件が堅調に推移しました。従来、これらのシステムは国内主体に展開してきましたが、当期に入り、中国をはじめとする東アジア、東南アジア向けの受注が伸びました。業種別では、インターネット通販など無店舗販売需要の増加等により、商業および小売業向けが伸びています。大型案件のみならず、自動倉庫を中心とする中小型システムも、順調に推移しています。

半導体工場向けシステムは、上期は高水準の設備投資が行われた前年度に比べ減少しましたが、下期に入り米国を中心に受注が回復しています。一方、中国の液晶パネル工場向けシステムの受注は、計画遅延による影響を受けています。

自動車生産ライン向けシステムは、タイやインドネシアなど新興国向けを中心に、国内のサービス、小規模改造案件も加えて堅調に推移しています。

## 《売上》

一般製造業や流通業向けシステムは、国内大型案件や中小型システムが、堅調に推移しました。半導体工場向けシステムの売上は北米や韓国、台湾向け案件が堅調に推移しました。液晶パネル工場向けは、中国向けが売上の中心となっています。

自動車生産ライン向けシステムは、新興国向けを中心とする海外案件、国内のサービス、小規模改造案件が寄与して、順調に推移しました。

洗車機は、メイン市場であるSS（サービスステーション）業界向けとCA（カーアフターマーケット）業界向けが昨年に引続き、共に順調に推移しています。特に、SS業界向けのセルフ洗車機が好調でした。

福祉車両搭載の車椅子用リヤリフトも、高齢化社会を背景に、堅調に進捗しています。

#### 《利益》

一般製造業や流通業向けシステムのコストダウンのさらなる進展、自動車生産ライン向けシステムの好調なサービス売上などにより、セグメント利益は大幅に改善しました。

以上の結果、受注高は84,110百万円（前年同四半期比3.5%増）、売上高は79,254百万円（前年同四半期比1.2%増）、セグメント利益は3,605百万円（前年同四半期比94.2%増）となりました。

#### ②コンテックグループ

国内の設備投資が持ち直しつつあることを受けて、デバイス製品の売上が増加いたしました。また、平成24年末に子会社化した米国のCONTEC DTx INC.（旧 DTx Inc.）の医療装置への組込用パソコンの販売が加わり、産業用パソコン系機器の売上が大幅に増加しております。

ソリューション製品では、医療関連の代理店を新規開拓したことにより、病院内の病室向けソリューション案件を受注するなど成果が出始めております。また、太陽光発電計測関連の販売が引続き堅調に推移いたしました。

この結果、受注高は11,343百万円（前年同四半期比68.1%増）、売上高は9,484百万円（前年同四半期比54.2%増）、セグメント利益は356百万円（前年同四半期比430百万円増益）となりました。

#### ③DAIFUKU WEBB HOLDING COMPANY (DWHC) グループ

DAIFUKU WEBB HOLDING COMPANY（以下、DWHC）は、北米の事業を統括する会社で、傘下にJERVIS B. WEBB COMPANY、DAIFUKU AMERICA CORPORATION、ELS HOLDING COMPANYを置き、北米の経営資源を効率的に運用しています。また、一般製造業・流通業向けのコンベヤシステムなどを得意とするWYNRIGHT CORPORATION（以下、ウィンライト社）の買収を完了しており、第4四半期からウィンライト社を連結する予定です。

自動車生産ライン向けシステムの受注・売上は、北米自動車業界の活発な設備投資を受け、デトロイトスリー向け、日系向けともに順調に推移しています。特に、昨年度からデトロイトスリー向け大型案件の受注が続いていることが寄与しました。サービスも好調で、セグメント利益改善に寄与しました。

半導体メーカー向けシステムは、窒素パージストッカーの需要が復調したことが寄与し、受注が期初予定を大幅に上回る進捗となっています。空港手荷物搬送システムは、米国政府の歳出削減や設備投資計画が遅れていることなどの影響を受けました。

一般製造業・流通業向けシステムは、小規模案件・サービス案件を主体に推移しました。同システムでは、既に共同で大型案件を手がけた実績のあるウィンライト社との協業により、大型案件獲得による業容の拡大を図っていきます。

この結果、受注高は41,881百万円（前年同四半期比45.0%増）、売上高は33,547百万円（前年同四半期比31.9%増）、セグメント利益は1,077百万円（前年同四半期比134.8%増）を計上しました。

## ④その他

「その他」は、上記3社以外の国内外の子会社であります。当社グループを構成する連結子会社は49社です。「その他」に含まれる主なものとしては、国内では、洗車機やボウリング関連製品の販売等を行う株式会社ダイフクプラスモアなどがあります。

「その他」に含まれる主要な海外現地法人としては、大福（中国）有限公司、DAIFUKU KOREA CO., LTD.、CLEAN FACTOMATION, INC.（韓国）、台湾大福高科技設備股分有限公司、DAIFUKU (THAILAND) LTD. などがあり、主にマテリアルハンドリングシステム・機器の製造・販売等を行っています。各社とも、グローバルな最適生産・調達体制の一翼を担い、国外への輸出も増やしています。

総じて、アジアの海外子会社を中心に業績は順調に推移しています。

中国では主として現地系、欧米系企業の活発な投資に支えられ、食品、飲料、医薬品、製紙、流通などの業界からの受注・引き合いが活発な状況が続いています。液晶・半導体業界向けは、受注予定が遅れ気味に推移しましたが、案件そのものは豊富で、昨年3月から稼動した大福自動搬送設備（蘇州）有限公司の工場がタイムリーに対応しています。自動車業界向けは当初、日系以外のメーカーからの受注が中心でしたが、日系メーカーの能力増強計画も加わって好調に推移しています。

台湾は、半導体業界で投資見直しの動きが見られるものの、製紙やタッチパネルメーカー向けの期初大型受注が寄与しました。

韓国では、半導体メーカーの業績が好転し、窒素パーズストッカーなどへの設備投資需要が続いています。自動車工場向けは、韓国自動車メーカーの韓国内の夏・秋連休の改造工事や中国現地生産需要を取り込み、順調に推移しました。また、洗車機の売上は、堅調に進捗しています。

ASEANのうち、タイやインドネシアは日系自動車メーカーの設備投資が引き続き活発で、タイ現地法人の工場はフル生産を続けています。また、小売業界向けの配送センターを受注するなど、自動車以外の市場が広がりつつあります。

欧州やアフリカでは、DAIFUKU LOGAN LTD.（旧 LOGAN TELEFLEX (UK) LTD.）とLOGAN TELEFLEX (FRANCE) S. A. S. が空港手荷物搬送システムの受注活動を進めています。

この結果、受注高は55,100百万円（前年同四半期比60.4%増）、売上高は46,926百万円（前年同四半期比40.6%増）、セグメント利益は2,311百万円（前年同四半期比74.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産の部について

当第3四半期連結会計期間末における総資産は235,314百万円となり、前連結会計年度末に比べ28,438百万円増加いたしました。これは新株予約権付社債の発行や受取手形・完成工事未収入金等の回収により現金及び預金が18,539百万円増加したことと、未完成工事請求不足高などの流動資産のその他が7,997百万円増加したことが主な要因であります。

## ②負債の部について

当第3四半期連結会計期間末における負債は138,503百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,313百万円増加いたしました。これは新株予約権付社債が15,140百万円増加したことが主な要因であります。

## ③純資産の部について

当第3四半期連結会計期間末における純資産は96,810百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,124百万円増加いたしました。これは保有する投資有価証券や為替の変動等によるその他の包括利益累計額合計が6,710百万円増加したことと、利益剰余金が4,312百万円増加したことが主な要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成25年11月12日に発表した平成26年3月期通期の業績予想数値を以下のとおり修正いたします。

北米やアジアなど海外現地法人の売上・利益両面での寄与、ダイフク単体の第3四半期連結累計期間における収益改善等を反映させました。

なお、受注面でも、全般的に順調に推移していることから、2,600億円の予想を2,700億円に修正いたします。

通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（単位：百万円）

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B - A)	増減率	(ご参考) 前期実績 (平成25年3 月期)
売上高	230,000	238,000	8,000	3.5%	202,337
営業利益	10,000	11,500	1,500	15.0%	8,010
経常利益	9,800	12,000	2,200	22.4%	7,999
当期純利益	5,700	6,500	800	14.0%	4,439
1株当たり 当期純利益	51.52円	58.75円	—	—	40.12円

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,735	52,274
受取手形・完成工事未収入金等	68,826	64,295
商品及び製品	3,368	3,337
未成工事支出金等	5,751	7,973
原材料及び貯蔵品	8,484	9,265
その他	19,769	27,767
貸倒引当金	△105	△137
流動資産合計	139,831	164,775
固定資産		
有形固定資産	31,297	33,039
無形固定資産		
のれん	5,768	6,772
その他	3,266	3,006
無形固定資産合計	9,035	9,778
投資その他の資産		
その他	26,860	27,866
貸倒引当金	△148	△146
投資その他の資産合計	26,711	27,720
固定資産合計	67,044	70,538
資産合計	206,875	235,314
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	36,553	26,598
電子記録債務	—	10,758
短期借入金	28,221	26,974
1年内償還予定の社債	6,000	6,000
未払法人税等	1,416	3,001
賞与引当金	182	1,240
工事損失引当金	739	380
その他	20,883	18,757
流動負債合計	93,998	93,712
固定負債		
新株予約権付社債	—	15,140
長期借入金	19,163	19,508
退職給付引当金	4,712	5,159
その他	3,315	4,982
固定負債合計	27,191	44,790
負債合計	121,190	138,503



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,024	8,024
資本剰余金	9,028	9,028
利益剰余金	69,859	74,171
自己株式	△2,424	△2,440
株主資本合計	84,486	88,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,809	3,338
繰延ヘッジ損益	△14	△50
為替換算調整勘定	△2,743	2,473
その他の包括利益累計額合計	△948	5,762
少数株主持分	2,147	2,264
純資産合計	85,685	96,810
負債純資産合計	206,875	235,314

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	144,549	172,794
売上原価	118,027	139,311
売上総利益	26,521	33,483
販売費及び一般管理費		
販売費	10,733	11,830
一般管理費	10,979	12,553
販売費及び一般管理費合計	21,713	24,383
営業利益	4,807	9,099
営業外収益		
受取利息	68	169
受取配当金	240	255
為替差益	—	336
受取賃貸料	170	173
その他	187	305
営業外収益合計	666	1,240
営業外費用		
支払利息	671	631
為替差損	88	—
その他	165	53
営業外費用合計	924	684
経常利益	4,550	9,655
特別利益		
固定資産売却益	4	4
その他	3	0
特別利益合計	7	4
特別損失		
固定資産除売却損	109	416
その他	25	30
特別損失合計	135	446
税金等調整前四半期純利益	4,423	9,212
法人税、住民税及び事業税	1,882	4,111
法人税等調整額	△114	△976
法人税等合計	1,768	3,135
少数株主損益調整前四半期純利益	2,654	6,077
少数株主利益	12	174
四半期純利益	2,642	5,902

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主利益	12	174
少数株主損益調整前四半期純利益	2,654	6,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	406	1,568
繰延ヘッジ損益	△61	△56
為替換算調整勘定	678	4,110
持分法適用会社に対する持分相当額	700	1,277
その他の包括利益合計	1,723	6,899
四半期包括利益	4,378	12,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,300	12,613
少数株主に係る四半期包括利益	77	363

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DWHC	計		
売上高						
外部顧客への売上高	78,315	6,148	25,426	109,890	33,367	143,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,297	6,471	304	25,073	8,341	33,415
計	96,612	12,620	25,731	134,963	41,709	176,673
セグメント利益又は損失(△)	1,856	△73	459	2,241	1,323	3,564

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社であります。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	134,963
「その他」の区分の売上高	41,709
セグメント間取引消去	△33,415
工事進行基準売上高の連結上の調整額	1,979
その他の連結上の調整額	△688
四半期連結財務諸表の売上高	144,549

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,241
「その他」の区分の利益	1,323
関係会社からの配当金の消去	△243
工事進行基準売上高の連結上の調整額	△213
その他の連結上の調整額	△464
四半期連結財務諸表の四半期純利益	2,642

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コンテック」セグメントにおいて、CONTEC DTx INC. (旧 DTx Inc.) の株式を第3四半期連結会計期間に取得し、同社を連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,509百万円であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DWHC	計		
売上高						
外部顧客への売上高	79,254	9,484	33,547	122,285	46,926	169,212
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,270	6,568	1,347	28,187	10,791	38,978
計	99,524	16,053	34,894	150,472	57,718	208,190
セグメント利益	3,605	356	1,077	5,039	2,311	7,351

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社であります。

## 2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	150,472
「その他」の区分の売上高	57,718
セグメント間取引消去	△38,978
工事進行基準売上高の連結上の調整額	4,016
その他の連結上の調整額	△434
四半期連結財務諸表の売上高	172,794

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,039
「その他」の区分の利益	2,311
関係会社からの配当金の消去	△532
工事進行基準売上高の連結上の調整額	△13
その他の連結上の調整額	△902
四半期連結財務諸表の四半期純利益	5,902

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。